

## 「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開」の協力校の選定について

文部科学省では、平成28年度に学識経験者等の有識者で構成する「数理及びデータサイエンス教育の強化に関する懇談会」において、「大学の数理・データサイエンス教育強化方策について」をとりまとめるとともに、6大学を「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」の拠点校として選定し、取組を支援してまいりました。令和元年度からは新たに20大学を協力校として選定し、全国の大学等への普及・展開を行っているところです。また、昨年策定された「AI戦略2019」（令和元年6月統合イノベーション戦略推進会議決定）において、2025年を目標年として、「文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得」することや、「文理を問わず、一定規模の大学・高専生（約25万人卒/年）が、自らの専門分野への数理・データサイエンス・AIの応用基礎力を習得」することが掲げられています。

文部科学省においては、この度、数理・データサイエンス・AI教育の全国展開をより一層加速させるため、新たな協力校と特定分野協力校を募集し、「大学の数理・データサイエンス教育強化方策推進検討委員会」において各大学の計画に対する評価を実施し、協力校の選定結果を取りまとめましたのでお知らせします。

### ○「大学の数理・データサイエンス教育強化方策推進検討委員会」所見

数理・データサイエンス・AIは、専門分野を志す学生の専門教育のみならず、広く一般の学生が、今後の社会で活躍するために必要となる基盤的なスキルであると考えます。情報技術の進展に伴って、社会から得られる膨大なデータの利活用は、今後の情報社会の根幹をなすものであり、その積極的な展開のためには、あらゆる分野において数理・データサイエンス・AIを理解し、具体的なデータに対して利活用できる能力を持つ人材が、獲得したスキルに見合った様々な場面で活躍する社会を一日も早く構築することが必要となります。今回の新たな協力校が、そのような社会の実現に寄与することを切に期待しています。

## 「数理・データサイエンス・AI 教育の全国展開」協力校・選定大学一覧

### 【特定分野協力校】

No.	大学名	事業名
1	小樽商科大学	データサイエンス教育の社会科学系パッケージの構築とオンデマンドによる普及及びビジネス教育への活用【社会科学】
2	東北大学	数理・データサイエンス・AI の工学系ダブルメジャー教育基盤【工学】
3	茨城大学	農業と地域の体力強化のためのデータサイエンティスト育成【農学】
4	筑波大学	AI 社会に対応した問題解決のための実践的データサイエンス(社会工学)～「社会工学カリキュラム 2.0」と「データサイエンス・ケースバンク」の構築～【社会工学】
5	東京医科歯科大学	医学・歯学分野における数理・データサイエンス・AI 教育の開発【医学・歯学】
6	神戸大学	社会科学系学部の強みを活かした、数理・データサイエンスモデルカリキュラムの開発と普及【社会科学】
7	広島大学	教員養成課程におけるデータサイエンス教育モデルの構築と普及ーデータサイエンスで学校教育を変えるー【教育学・教員養成】

※【 】内は特定分野

### 【協力校】

No.	大学名	事業名
1	富山大学	数理・データサイエンス教育の全学必修化と北陸地区の大学連携による地域への普及
2	山梨大学	シン・ヤマナシ: やまなし発・数理×データ×AI 教育の新展開
3	長崎大学	数理・データサイエンス教育推進体制の整備と地域大学コンソーシアムへの普及

有識者による評価の観点は以下のとおり。

**【特定分野協力校】**

- ・それぞれの専門分野における実課題並びに実データ等を収集し、関連教育の教材として整備するなど、応用基礎レベルのモデルカリキュラム策定に具体的に貢献できるか。
- ・数理・データサイエンス・AI 教育の全国展開や、関連教育を担当できる教員を増やすため、専門分野ごとのネットワークを活かし、FD 活動やワークショップ・シンポジウムの開催等を主体的に実施できるか。
- ・モデルカリキュラム等を参照し、リテラシーレベル及び応用基礎レベルの数理・データサイエンス教育を自大学において構築・実施できるか。
- ・オンライン教材や演習を組み合わせる等、実効性のある教育が実施できるか。

**【協力校】**

- ・数理・データサイエンス・AI 教育の全国展開や、関連教育を担当できる教員を増やすため、地域の核となり FD 活動やワークショップ・シンポジウムの開催等を主体的に実施できるか。
- ・モデルカリキュラム等を参照し、リテラシーレベル及び応用基礎レベルの数理・データサイエンス教育を自大学において構築・実施できるか。
- ・オンライン教材や演習を組み合わせる等、実効性のある教育が実施できるか。